

うおづの 水循環遺産 MAP



自然

〈源流の山と水源の森〉

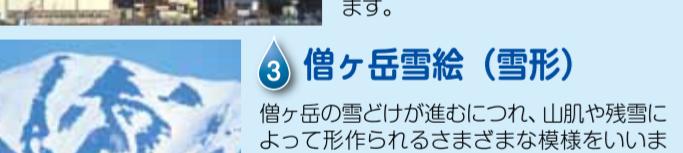


毛勝三山 毛勝山 標高2,415m 釜谷山 標高2,415m
猫又山 標高2,378m



北アルプス立山連峰
2 僧ヶ岳 の北端
標高1,855m

布施川の源流であり、片貝川と黒部川の分水嶺の一角も成す山。あまり標高が高くなはないながら、その地質や地形から多様な植物が生育しています。



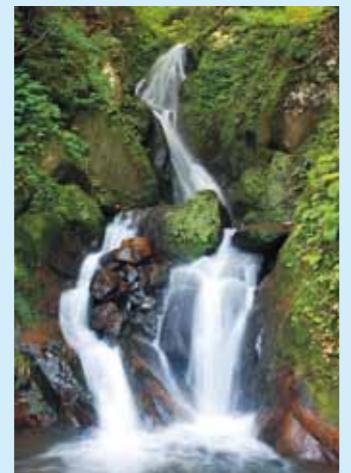
3 僧ヶ岳雪絵(雪形)
僧ヶ岳の雪だけが進むにつれ、山肌や残雪によって形成されるさまざまな模様をいいます。虚無僧や猫、馬など変化する雪絵(雪形)は、田植え時期のめやすとされていました。



4 池尻の池のミズバショウ群
僧ヶ岳の中腹に位置する湿地
自然度の高い森林に囲まれた湿地に自然のまま群生しているミズバショウが残されています。ミズバショウだけの群生地としては県内最大級であり、富山県の尻自然環境保全地域の特別地区に指定されています。



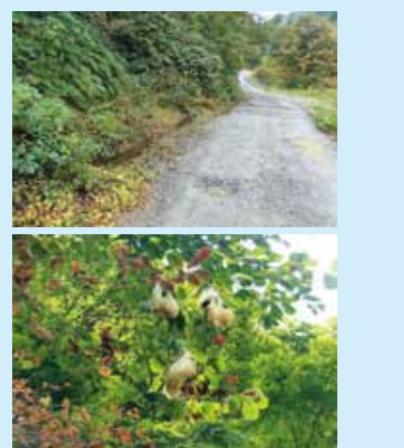
5 洞杉群
片貝南又谷周辺の標高500~700m付近に群生しているスギ
洞杉の多くは巨大な岩を根元に抱え込むような形で生育することを特徴としています。多雪環境に順応して複雑な樹形となった樹齢数百年を超える巨木は、魚津の自然の象徴的な存在です。



6 淀滝
片貝川上流の平沢地区にある落差約30mの滝です。トチノキ林の奥に流れ落ちる滝の周辺は、夏でも涼しく、勇壮な風景は訪れる人の心を癒しています。

〈魚津埋没林〉

13 埋没林 昭和5年(1930)の魚津港修築工事の際に現れた230株余りの杉の原生林跡



7 モリアオガエル等の生息地
南又谷未舗装道路周辺

片貝川又谷駐車場から蛇石、洞杉群生地までの歩道沿いに、毎年モリアオガエルが産卵する場所があります。産卵期の5月から7月には、木の枝にたくさんの白い花のような卵塊ができます。歩行者の安全確保そのため、道路は舗装されていますが、多様な生き物がいるこの区間は未舗装のままで残し、野生生物との共生を目指しています。



12 てんこ水 鶴川沿い
鶴川では、川底から透き通った地下水(伏流水)が湧いていました。川底から盛り上がりつて湧き出る形から「てんこ水」と呼ばれ、町内の所々にこの水を引いた井戸を作り、飲料水や生活用水として利用していました。昭和61年2月とやまの名水に選定されました。



18 鴨川 水源: 片貝川 延長: 3.9km 2級河川

片貝川では、川底から透き通った地下水(伏流水)が湧いていました。川底から盛り上がりつて湧き出る形から「てんこ水」と呼ばれ、町内の所々にこの水を引いた井戸を作り、飲料水や生活用水として利用していました。昭和61年2月とやまの名水に選定されました。



片貝川の氾濫と海面の上昇が複合して形成されたと考えられています。約2,000年前の樹根が地中で腐らずに残っていたのは片貝川の清らかな伏流水の作用があるとも考えられています。現在の保存水槽も地下から水が湧いています。昭和11年に国の天然記念物、昭和30年には特別天然記念物に指定されました。樹齢は500年前後と推定されています。



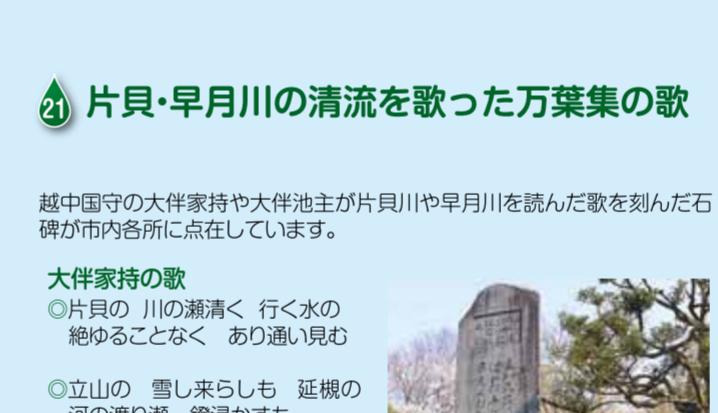
19 角川 水源: 大平山付近 延長: 15.5km 2級河川

片貝川流域と早月川流域へ雨水などの流れを分ける分水嶺である松倉地区に源流があります。越中三大阪山として名高い松倉城への通行河川として、古くから交通の要として重要な役目を果たしていました。



20 早月川 水源: 鶴岳 延長: 50km 2級河川

滑川市との市境にある河川。片貝川と並ぶ急流河川として知られ、立山の雪解け水の清流として万葉集に歌われています。「早月川の清流」として、昭和61年2月とやまの名水に選定されました。



21 片貝・早月川の清流を歌った万葉集の歌

越中国守の大伴持や大伴池主が片貝川や早月川を読んだ歌を刻んだ石碑が市内各所に点在しています。



大伴持の歌
○片貝の 川の瀬漁く 行く水の
絶ゆることなく あり通り見む

○立山の 雪し来らしも 暑櫻の
河の渡り瀬 鏡浸かすも

大伴池主の歌
○落ち激つ 片貝川の 絶えぬごと
今見る人も 止まず通はむ



29 円筒分水槽(東山地区、貝田新地区)
県内最古の昭和30年(1955)完成

片貝川左岸の貝田新からサイフォンで右岸の東山へ送水しています。東山の円筒分水槽は、豊かな水量があふれる景観から、「日本一美しい」円筒分水槽ともいわれています。平成25年度うるおい環境とやま賞「水の賞」を受賞しました。



・サイフォンで左岸から右岸へ水を運び、噴き上がらせます。
・仕切りを入れることで、水を比例分配し、公平に分けています。



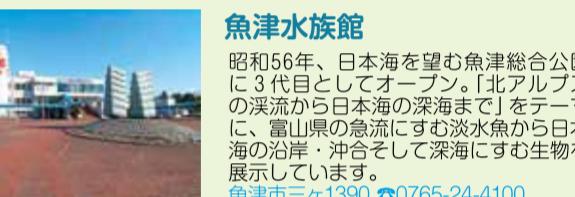
30 高円堂用水

東山と天神山の間にあった高円堂谷を埋め、木製の橋をかけ水を引きました。慶安2年(1649)に着工、2年で完成。谷の埋め立ては困難を極め、高さ20m、長さ200mあまりもの大きな堤、鐵とモソコを使い人力で築きあげた大工事でした。昭和38年4月、市の文化財に指定されました。

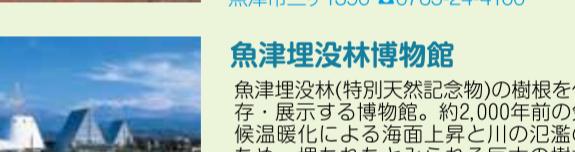


坪野地区を中心に存在する「ため池」は山間部の地形を利用して作られたものが多く、池の中やその周辺には昨今の田園環境の変化によって減少しつつある希少生物の生育・生息が見られます。

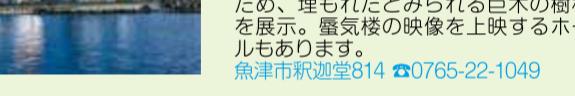
〈魚津をさらに知るための施設〉



昭和56年、日本海を望む魚津総合公園に3代目としてオープン。「北アルプスの渓流から日本海の深海まで」をテーマに、展示する博物館。約2,000年前の気候温暖化による海上昇と川の氾濫のため、埋められた木の樹根を保存・展示しています。



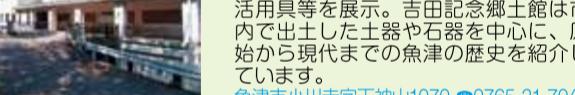
魚津埋没林(特別天然記念物)の樹根を保存・展示する博物館。約2,000年前の気候温暖化による海上昇と川の氾濫のため、埋められた木の樹根を保存・展示しています。竜氣楼の映像を上映するホールもあります。



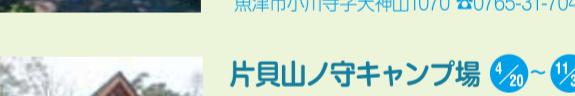
歴史民俗資料館では江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



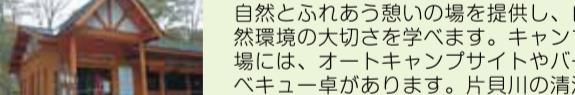
魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



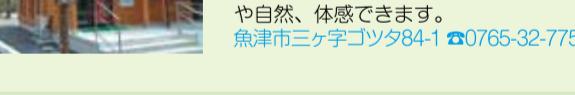
歴史民俗資料館では江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



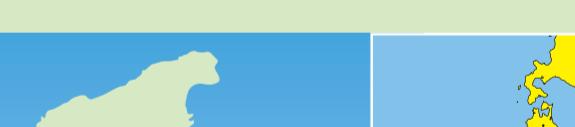
自然とふれあう憩いの場を提供し、自然環境の大切さを学べます。キャンプ場には、オートキャンプサイトやバーベキュー場があります。片貝川の清流や自然、体感できます。



魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



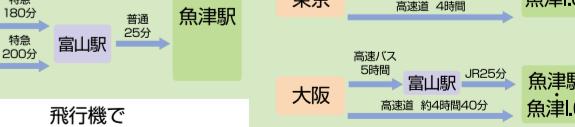
魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



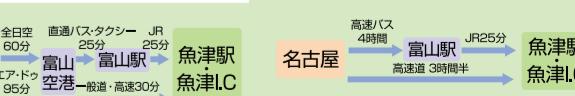
魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



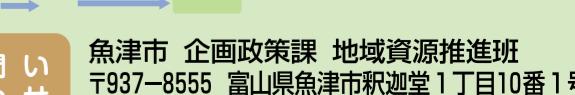
魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



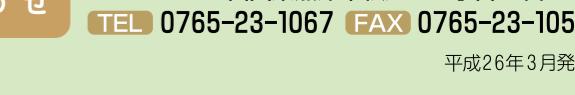
魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。



魚津市立図書館は江戸～昭和にかけて実際に使った農具・漁具・漆器・生活用具等を展示。吉田記念郷土館は市内で出土した土器や石器を中心し、原始から現代までの魚津の歴史を紹介しています。

平成26年3月発行

